

3. 福岡空港の概要

福岡空港は、福岡市東南部(福岡市博多区大字下臼井)に位置し国土交通大臣が設置・管理する第二種空港です。

福岡空港は福岡市中心部に近い場所に位置し(都心から7km)、福岡市都心部から空港へのアクセスは、福岡市営地下鉄空港線が国内線ターミナル地域に乗り入れており、JR博多駅からは5分、天神からは11分と非常に利便性に優れた空港です。

福岡空港は国内線24路線、国際線21路線を有し、(平成18年5月現在)、平成17年速報値で年間約1645万人の国内航空旅客と約

223万人の国際航空旅客に利用され、年間の発着回数は約13.8万回にのぼっています。

一方福岡空港は、その立地から、航空機騒音問題を有しており、実際の利用時間帯は7時から22時となっています。

空港の旅客ターミナルビルは、滑走路を挟んで東側に国内線が、西側に国際線がそれぞれ位置しています。旅客ターミナルビルは国内線第一、第二、第三、国際線の4棟、貨物ターミナルビルは国内線貨物、国際線貨物の4棟があります。

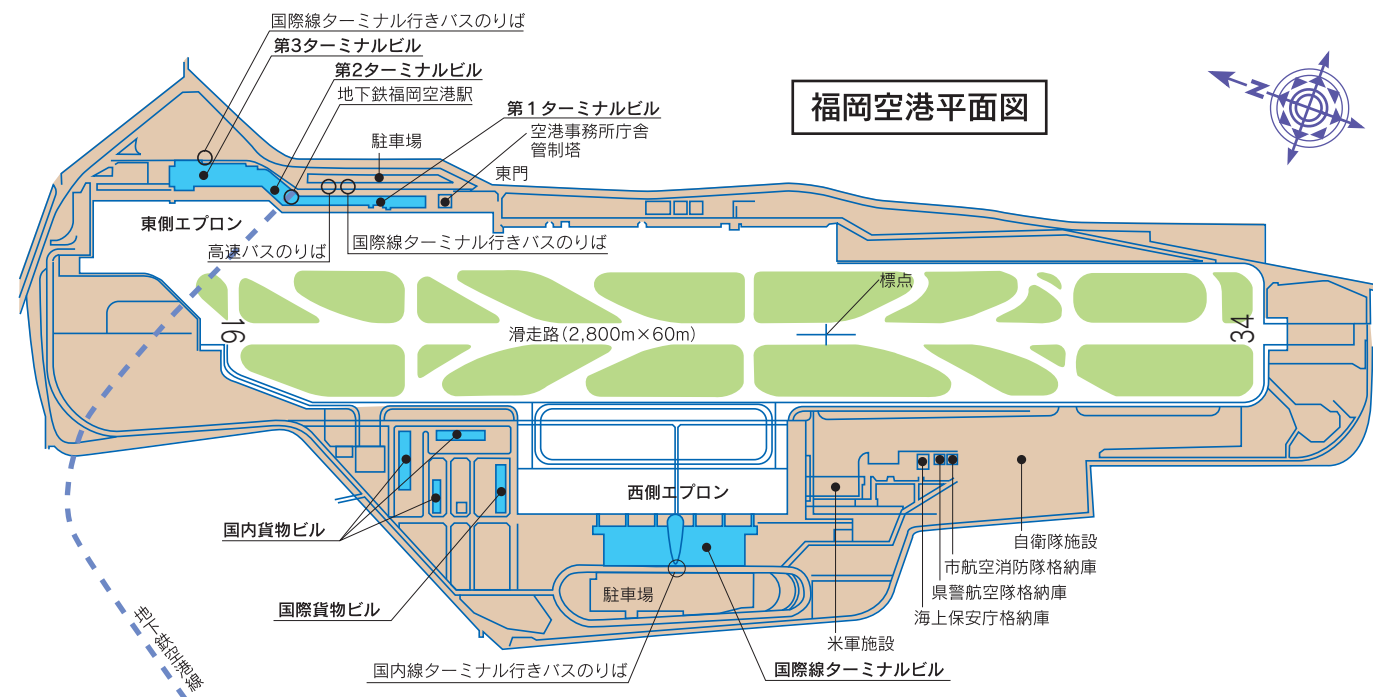


3. 福岡空港の概要

3. 福岡空港の概要

■空港の概要

設置管理者	設置:国土交通大臣	位置	福岡県福岡市
	管理:国土交通大臣	滑走路	2,800m×60m
種別	第二種空港	エプロン	43バース(ローディング31、ナイトスティ12)

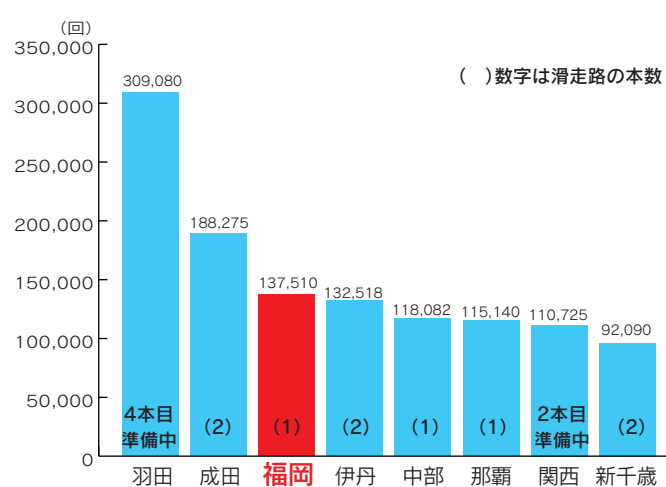
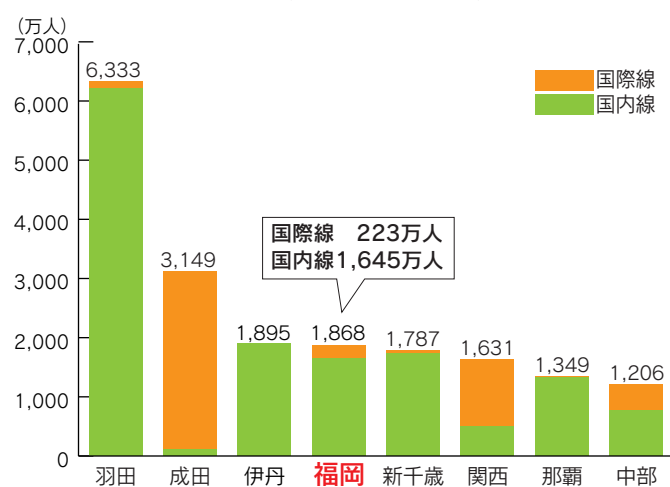


■利用の状況

航空旅客数は羽田、成田、伊丹について全国第4位(H17速報値)、年間発着回数は羽田、成田について全国第3位(H17速報値)となっています。

■国内主要空港の旅客数(平成17年速報値)

■国内主要空港の年間発着回数(平成17年速報値)



中部には、H17.1.1~2.16の旧名古屋空港分を含む。

■路線の現況

福岡空港の平成18年5月現在の国内定期航空路線は、東京、大阪方面、名古屋及び南九州を中心とし、東北、北陸、山陰及び四国も含め24路線300回(発着)／日、国際定期航空路線は、中国・台湾、韓国及び東南アジアを中心に21路線298回(発着)／週が運航されています。福岡空港へ就航する便の航空会社は、国内線が6社、国際線が国内社3社、外国社14社となっています。

